

# 中期目標の達成状況報告書

(別添資料)

## 目 次

別添資料1-1-1	「初等理科指導法」において 観察・実験技能習得を目的として実施している 「観察・実験パフォーマンス講座」の成果と課題	1
別添資料1-1-2	学びのひろば 理想の教師を目指して (上越教育大学学園だより JUEEN 2014 春 No.27)	4
別添資料1-1-3	都道府県教育委員会と上越教育大学との情報交換会における 大学院カリキュラムについての意見聴取結果の分析	7
別添資料1-1-4	上越教育大学成績評価に対する異議申立てに関する取扱細則	8
別添資料3-1-1	平成27年度教職員のための自主セミナー (案内チラシ)	10
別添資料3-1-2	新潟県内のCST (コアサイエンスティチャー) と 地区理科教育センターについて	13

## 別添資料1-1-1

「科学的リテラシー向上プロジェクト」シンポジウム 2012.11.17

「初等理科指導法」において  
観察・実験技能習得を目的として実施している

### 「観察・実験パフォーマンス講座」 の成果と課題について

上越教育大学  
稲田 結美

「科学的リテラシー向上プロジェクト」シンポジウム 2012.11.17

### 「観察・実験パフォーマンス講座」の概要

◆講座の目的  
小学校で理科を教える際に必要となる基本的な観察・実験の技能を高め、小学校で理科を教える自信をつける。一人一人が実際に体験しながら実験器具の操作方法を身につけ、実験を通じた問題解決能力の向上を目指す。

◆受講者・講座の回数  
 > 「初等理科指導法」(必修)の受講生全員(約270人)  
 > 講座は3回(各90分)  
 > 「初等理科指導法」の授業時間外に実施  
 > 1回の講座の人数は最大で10人

「科学的リテラシー向上プロジェクト」シンポジウム 2012.11.17

### 「観察・実験パフォーマンス講座」の概要

◆講師  
小・中学校で長年勤務された理科授業のエキスパート。4人の講師が交替で担当。毎回少なくとも2人の講師が学生の指導にあたる。  
実験器具の操作方法だけでなく、学校で教える際の留意点などについても助言をいただける。

「科学的リテラシー向上プロジェクト」シンポジウム 2012.11.17

### 「観察・実験パフォーマンス講座」の概要

◆講座の内容  
 > 小学校理科で学習する観察・実験を中心にする。  
 > ワークシートはA4サイズ1枚で両面印刷。実験結果・考察を記入し提出。講師がコメントを加えて返却。

1回目

1. 加熱器具の使用: マッチ, アルコールランプ, ガスバーナー
2. 水溶液の作製, 濾過, 蒸発乾固: ホウ酸
3. 水溶液(希塩酸, 食塩水, 石灰水)の液性調査: リトマス紙, BTB溶液
4. 回路づくりと電流・電圧の測定: 導線, 豆電球, 電池, スイッチ, 電流計, 電圧計
5. 回路づくり(応用): 豆電球1個, エナメル線1本, 電池1個

「科学的リテラシー向上プロジェクト」シンポジウム 2012.11.17

### 「観察・実験パフォーマンス講座」の概要

◆講座の内容

2回目

1. だ液のはたらきの調査: デンプン, ヨウ素液
2. ろうそくの燃焼前後の気体の調査: 石灰水, 気体検知管
3. 水中の微生物の観察: 顕微鏡
4. 電熱線の発熱の調査: 太さの異なる電熱線
5. 火山灰と砂, 火山岩と砂岩の観察: ルーペ, スケッチ

3回目

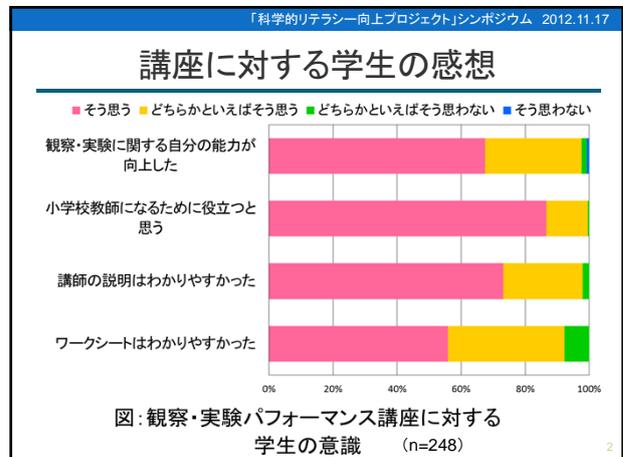
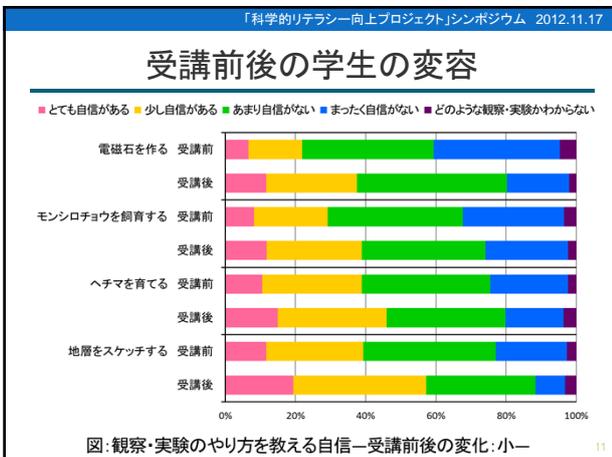
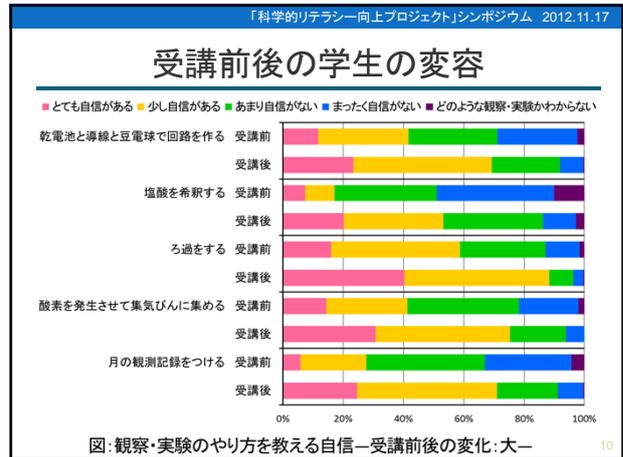
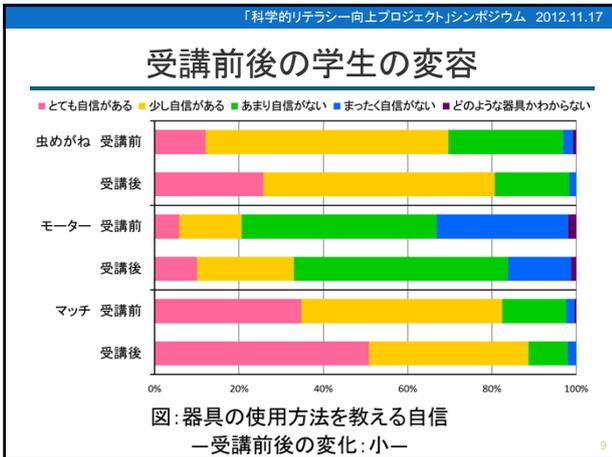
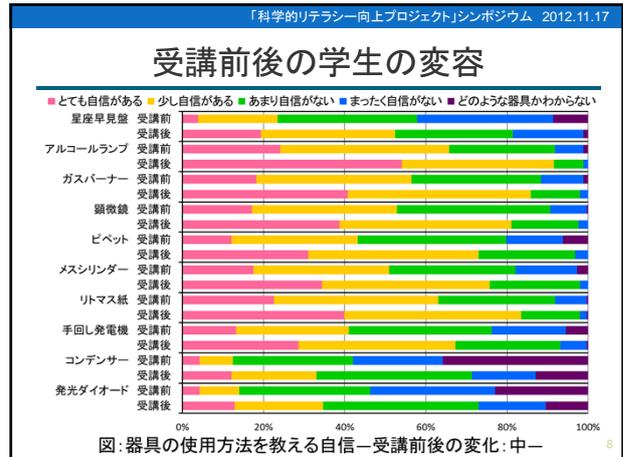
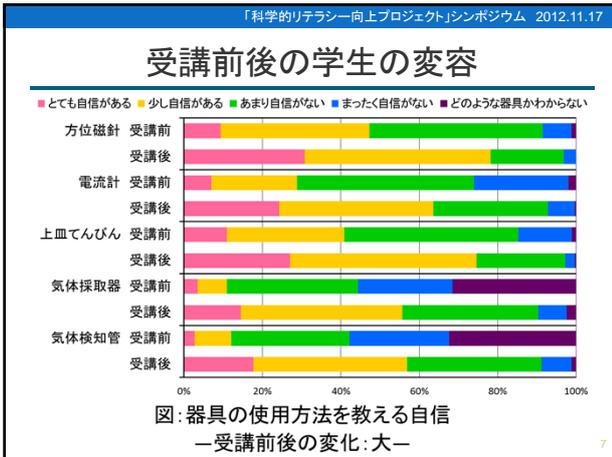
1. 金属と酸の反応: 塩酸の希釈, アルミニウム箔, スチールウール, 反応後の生成物
2. 光合成の調査: 葉の要素反応, たたき染め
3. 液体から固体への状態変化の観察: 温度変化, 食塩, 過冷却

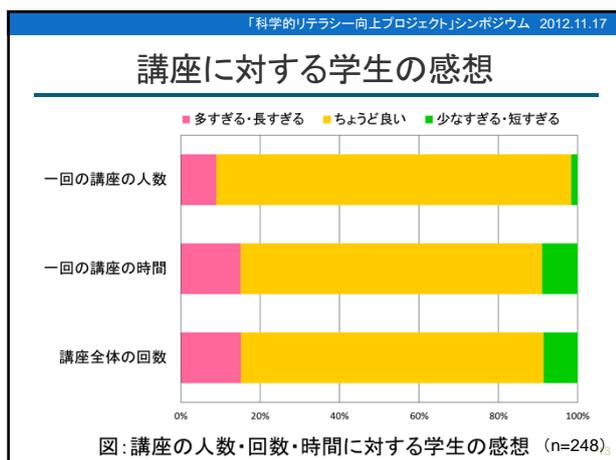
「科学的リテラシー向上プロジェクト」シンポジウム 2012.11.17

### 受講前の学生の意識

◆小学校で「理科」を教えることに関する不安 (自由記述)

	人数	具体的記述 (一部)
実験技能に関して	76人	<ul style="list-style-type: none"> <li>実験道具を扱えるか不安。</li> <li>マッチが怖くてすれないこと。</li> <li>道具の使い方を忘れてしまっている。</li> </ul>
危機管理に関して	26人	<ul style="list-style-type: none"> <li>理科の授業は危険をともなう恐れがあるから心配。</li> <li>子どもたちがケガをしないように実験させること。</li> </ul>
知識量に関して	76人	<ul style="list-style-type: none"> <li>専門知識がなさすぎる。</li> <li>植物の名前を覚えていないこと。</li> </ul>
子どもへの対応に関して	16人	<ul style="list-style-type: none"> <li>質問に答えられなかったどうしようという不安。</li> <li>どう指導すれば、子どもが理科を面白いと思ってくれるのか。</li> </ul>





「科学的リテラシー向上プロジェクト」シンポジウム 2012.11.17

### 講座に対する学生の感想

◆講座を受講した感想 (自由記述)

肯定的回答	人数	具体的記述 (一部)
実際に体験できてよかった	54人	<ul style="list-style-type: none"> <li>実験の手順や注意点を学べてよかった。</li> <li>少人数ですめることができたので、効率的に実験ができた。</li> </ul>
楽しかった、面白かった	54人	<ul style="list-style-type: none"> <li>受講したことで理科はおもしろいという考えをもつことができた。</li> <li>理科が楽しく好きになった。</li> </ul>
自分のためになった、自信がついた	39人	<ul style="list-style-type: none"> <li>短い時間にたくさんの実験をすることが出来て、自分のためになりました。</li> <li>なつかしく思い、身につくものも多かった。</li> </ul>
講師がよかった	37人	<ul style="list-style-type: none"> <li>優しく丁寧に教えていただき、すごうれしかった。</li> <li>先生が親身になって疑問に答えてくれたり、話を聞いてくれたりして良かったです。</li> </ul>

「科学的リテラシー向上プロジェクト」シンポジウム 2012.11.17

### 講座に対する学生の感想

◆講座を受講した感想 (自由記述)

否定的回答	人数	具体的記述 (一部)
大変だった、反省した、改善を求める等	18人	<ul style="list-style-type: none"> <li>時間がギリギリで、スムーズにできるスピードも必要だと感じた。</li> <li>もっとゆとり時間をとって、こなすだけでない講座であると思う。</li> <li>何年生の何の分野か言ってもらってから実験したかった。</li> <li>大変だった。勉強になったが、早すぎて定着できない。何回かチャレンジしたい。</li> <li>説明や実験方法をしっかり理解できずに実験に突入してしまうことばかりで、実験中はまねばかりで自分で考える余裕があまりなかった。</li> </ul>

「科学的リテラシー向上プロジェクト」シンポジウム 2012.11.17

### 受講後の学生の意識

◆小学校で「理科」を教えることに関する不安 (自由記述)

記述した人数	人数 ( )は受講前	具体的記述 (一部)
112人		
実験技能に関して	38人 (76人)	<ul style="list-style-type: none"> <li>植物を育てる学習が不安です。</li> <li>器具の使用はやはり多少不安があります。</li> <li>まだ慣れが必要だと感じました。</li> </ul>
危機管理に関して	13人 (26人)	<ul style="list-style-type: none"> <li>実験中の子どもの安全確保。</li> <li>ケガしてしまったときの対応。</li> </ul>
知識量に関して	14人 (76人)	<ul style="list-style-type: none"> <li>わからないことが多すぎることです。</li> <li>生物および地学分野の内容。</li> </ul>
子どもへの対応に関して	13人 (16人)	<ul style="list-style-type: none"> <li>どうやって興味をもたせるか。</li> <li>実験で困っている子へ自分がしっかり教えられるか。</li> <li>質問がきたときに答えられるか。</li> </ul>

「科学的リテラシー向上プロジェクト」シンポジウム 2012.11.17

### まとめ

◆講座の成果

- 必修の授業において通常は実現が非常に困難な少人数での体験的な活動を、3時限分も実施することができた。
- 多くの学生が講座を高く評価し、自身の観察・実験の技能を向上させることができた。
- 受講生が小学校で使用する実験器具・装置の使用方法を概ねマスターし、それらを教える自信をつけることができた。
- 少人数で行うことができたため、講師の目が行き届いただけでなく、学生が講師に気軽に質問できる環境を整えることができた。

「科学的リテラシー向上プロジェクト」シンポジウム 2012.11.17

### 今後に向けて

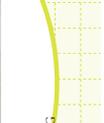
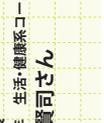
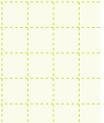
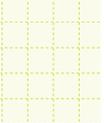
◆講座の課題

- 小学校のすべての観察・実験を盛り込むことはできなかった(特に、長期的あるいは野外での観察が必要なもの)。
- 1回で行う内容が多すぎて、消化することが困難な学生もいた。
- 学生の観察・実験の技能面は大きく向上したが、今回体験できなかった器具の使用や、指導にあたっての児童への対応に不安が残る学生が少なくない。

少人数での体験的な活動ができる「観察・実験パフォーマンス講座」は引き続き実施し、課題については、「初等理科指導法」の本体の授業で補っていく方法を検討したい。

# 学びのひろば

理想の教師を目指して 別添資料1-1+2



学びのひろばは、上越教育大学フレンドシップ事業の一環として始まり  
ました。フレンドシップ事業とは、平成9年度に当時の文部省が、学生  
が子どもたちとふれあい、子ども理解を深め、教員としての実践的指導  
力の基礎を習得することを目的に全国の教員養成系大学に推奨し実施されてきた  
事業です。  
本学では、年7、8回程度の活動日に近隣の小学校に通う子どもたちを大学などに  
招き、レクリエーションや野外活動、工作、運動などを楽しみながら子どもと触れ合う  
活動を行っています。活動の企画、運営は、全て学生の手によって行われ、子ども理解  
を深め、実践力を養成します。

また参加する子どもたちにとっても、学校とは違う環境での活動や、普段触れ合う  
ことのない他校の子どもたちとの活動は、貴重な体験の場でもあります。  
学生は子どもと回土のコミュニケーションが円滑に進むように働きかけることで成  
果を上げています。そしてその中で教員になるという強い思いが芽生えるのです。



START!  
今年度初度 8:00 受付が始まりました



8:00 受付が始まりました

緊張してはいませんか?

私たちが出てきて  
お話しだ!

## 上越教育大学学園だより JUEEN 2015 夏 No.31

### 平成25年度 学びのひろば 設立クラブ

学年	学年総系	理系	自然系	理工系	運動系	総合系	子ども企画系
1~2	生活・健康系コース (技術)	物産・受付、公産、広報、会計、	3年 自然系コース (理系)				
1~2	3年 自然系コース (理系)	3年 自然系コース (理系)	3年 自然系コース (理系)	3年 自然系コース (理系)	3年 自然系コース (理系)	3年 自然系コース (理系)	3年 自然系コース (理系)
1~4	3年 自然系コース (理系)	3年 自然系コース (理系)	3年 自然系コース (理系)	3年 自然系コース (理系)	3年 自然系コース (理系)	3年 自然系コース (理系)	3年 自然系コース (理系)
3~6	3年 自然系コース (理系)	3年 自然系コース (理系)	3年 自然系コース (理系)	3年 自然系コース (理系)	3年 自然系コース (理系)	3年 自然系コース (理系)	3年 自然系コース (理系)
3~6	3年 自然系コース (理系)	3年 自然系コース (理系)	3年 自然系コース (理系)	3年 自然系コース (理系)	3年 自然系コース (理系)	3年 自然系コース (理系)	3年 自然系コース (理系)
3~6	3年 自然系コース (理系)	3年 自然系コース (理系)	3年 自然系コース (理系)	3年 自然系コース (理系)	3年 自然系コース (理系)	3年 自然系コース (理系)	3年 自然系コース (理系)
3~6	3年 自然系コース (理系)	3年 自然系コース (理系)	3年 自然系コース (理系)	3年 自然系コース (理系)	3年 自然系コース (理系)	3年 自然系コース (理系)	3年 自然系コース (理系)
3~6	3年 自然系コース (理系)	3年 自然系コース (理系)	3年 自然系コース (理系)	3年 自然系コース (理系)	3年 自然系コース (理系)	3年 自然系コース (理系)	3年 自然系コース (理系)
4~6	3年 自然系コース (理系)	3年 自然系コース (理系)	3年 自然系コース (理系)	3年 自然系コース (理系)	3年 自然系コース (理系)	3年 自然系コース (理系)	3年 自然系コース (理系)

各クラブで活動開始!

9:30

楽しくなってきました

11:00

おべんとタイム

12:00

一日の活動をふりかえります

14:00

午後もがんばります

13:00

今日は一日おつかれさまでした!

14:40

人前に出るのが苦手な自分が、事務局長をやろうと思ったのは、学生の時にしかできない活動だからでした。ただ、やるからには今年度の活動を最高のものにした、という思いを常に意識して取り組んできました。

事務局長 生活・健康系コース (技術) 飛田賢司さん

# 11/9 11/10 11/11の舞台裏

お見せします！

学びのひろば当日を迎えるまでに、各クラブで話し合いをして準備に時間を費やします。

# 11/16 今年 クラスタ START!

11月活動はクラブ活動の集大成です。それまでの活動で楽しんで学ぶんだことを確認し合う場です。1年間の活動を通して子どもが本当にどんな関わりができたのでしょうか？



副実行委員長 学部3年 幼児教育コース 高南 南美さん

子どもにとって学びのひろばは、学校にはない楽しさがあると思います。私は楽しい活動をたくさんすることが、子どもの成長につながるのではないかと考えています。子どもが学びのひろばでたくさん「楽しい」を経験して、いろんなことに興味を持ってくれればと思っています。この活動の魅力は、たくさんの学生が集まって一つのことをやりとげることでもあります。1回の活動を終えるまでに、代表者会議や、各クラブでの打ち合わせなどのたくさん話し合いを重ねて当日を迎えます。先輩、後輩関係なく、お互いの意見をぶつけ合うことができ、とことん考え抜くことができます。ゼミでもなく部活でもなく、つながりから得るものは大きかったです。



## 11月初旬 代表者会議

各クラブの代表者が集まり、それぞれの企画書の検討を行います。この日は11月活動の最終検討日です。活発な議論が交わられました。会議開始が夕方6時30分ですが、終了するのは毎回遅刻に及びます。

## 話し合い 事前準備

原案は趣意を取りながら話し合いをし、物品を作成します。和やかなように真剣に話し合いを行います。



にこにこさっず おひさま♪

どきりか！リサーチャー？



## 前日準備 確認

各クラブの会場準備の他に、受付をする体育館の準備、衛生面の配慮、車の誘導や広報、記録といったことを確認します。

## リハーサル

授業の空き時間を使って当日準備をします。台本内手に当日のリハーサルをして、ゼリホの練習を行います。準備品の製作を何度も重ねます。

# 学びのひろば 当日

無事活動が終了し、子どもたちが帰った後、片付けを行います。その後は各クラブでその日の活動を振り返り、その反省を次の活動につけていくのです。

## 反省会



☆なないろ キャンパス

きらきら スポンサー

私は小学4～6年生まで学びのひろばに参加していました。思いつきで選んだ活動も楽しかったのですが、大學生のお兄さんお姉さんに会えるのがとても楽しみだったことが記憶に残っています。同級生とは違う人との交流が新鮮で楽しかったのもかもしれません。今、子どもたちを迎える立場になって活動の大変さを実感しています。年7回ある活動のために、話し合いをして目標を立て、企画し、実行することは大変な作業でした。自分の考えの甘さを思い知らされることもしばしばありました。でも、話し合いを重ね目標をきちんと立てると、企画がしっかりとできて進んでいくのを実感しました。

小学生時に学びのひろばに参加し、現在学生スタッフとして活躍している学生 学部1年 大嶋 清香さん

**学びフエスタ**

学びのひろば最終回は、「学びのひろばフエスタ」として各クラブの活動をテーマリング形式で発表します。各クラブの一年間の足跡をパネルで紹介し、子どもたちが他のクラブの展示を見て回ることで、他のクラブがどのような活動をしているのかを知ることができる機会としています。また、保護者向けの講演会も開催されます。



自由にたいて国語を楽しく



かいじゅうパチンコ

中野真由が先生講演



**12月**  
12月7日(土)  
アライオン2013 開催  
開会式

**11月**  
第11回 学びのひろば

**10月**  
第10回 学びのひろば

**8月**  
第3回 学びのひろば  
大学オクトーフェスにて  
3クラブを活動

**7月**  
第2回 学びのひろば  
7クラブを準備

**6月**  
第1回 学びのひろば  
開会式  
子ども、学生も「ま回」楽しもう

**5月**  
危機管理訓練講習会  
学校現場における危機管理について  
の講義や、宇治消防団所での  
消防訓練体験の演習をします。

**4月**  
学びのひろば  
ガイダンス  
学級生や学年の先生はのぞき、  
保護者を招き、参加希望を決定  
します。

実行委員長 学部3年 言語茶コース (国語)  
河合聡子さん

実行委員長 学部3年 言語茶コース (国語)  
山田真也さん

事務局長 学部3年 自然系コース (理科)  
山田真也さん

副事務局長 学部3年 自然系コース (理科)  
山田真也さん

**[6]**

身いつたかな?



はーい!!

**学びのひろば in 妙高**

8月は国立妙高青少年自然の家(妙高市)で活動します。今回は小学3~6年生対象の6つのクラブが2泊3日の宿泊活動を行いました。子どもたちにとっては普段の活動とは違い、自然の中でダイミツクを活動することが可能です。自然探検に野外炊飯、自然物を使って作品を作ることの喜びと楽しさを学び、自分の作ったことに自信を持つことも学びます。学生は長時間、子どもと触れ合うことで、子どもの意外な一面を知ることができ、子どもとの絆を深めることができます。また、普段の活動以上に綿密な計画と準備、学生間の連絡体制を整えることにより、責任を持って子どもを預かることを学びます。



川の流れに逆らって登っていく様子  
自然の中で子どもたちは大はしゃぎでした



事務局長 山田真也  
教授 金田聡

**学びと感動が一杯! 学びのひろば**

学びのひろばは、参加者に多様な学びを提供します。子どもたちにとっては、自然や音楽、図工、スポーツ、理科(科学)などの諸活動を通じて、感動したり、様々な発見したりする場になります。学生にとっては子どもが見せる多様な表情や子どもの「おもしろい、かっこいい、教育的知識を得ることが出来る場になります。」など、「学びのひろば」の歴史と伝統を継承し活動の質的充実に向けている学生の姿は特筆すべきものがあります。学生は学びのひろばの活動をよりよいものにするため仲間と徹底的に話し合います。一人の子どもの支援の仕方や活動の安全面などについて議論を重ね、諸活動の準備をします。こうした話し合いの準備は時に深夜であるが自覚まで返ることがあります。このように子どもたちの笑顔のためと、真摯に活動にかかわり、仲間とかわり、活動に没頭する学生の姿は、各教員を自覚し学生に求められている「実践的指導力」の基礎が培われている姿といえます。そして「学びのひろば」の年間活動をやり遂げたとき学生は言い知れぬ満足感にひたり、自分の教職キャリアに思い掛けず教師になりたいという強い意志と希望をもつことが出来ます。

このように学びのひろばは学びと感動が一杯のひろばです。

8月の妙高宿泊体験は、普段の活動以上に子どもと関わることであります。子どもと学生の距離も近くなり、得るものもたくさんあります。活動を終えて気がついたこととして、上級生の子どもがとてもしっかりして、下級生の面影をよく見るようになってきました。年間際なく各クラブの一員としての意識ができてきて、「全員でがんばって楽しもう」という雰囲気になります。私が学びのひろばの活動をやってきて一番うれしかったことは、やんちゃな6年生が「おれは将来絶対大学生になるよ。学びのひろばがとても楽しかったから」と話したことを保護者の方から聞いた時でした。手紙を感した瞬間でした。



**子どもコメント**  
大変なけれど、やることは無  
理だと思っても、でも、いかに  
めんどくさい「おもしろい」  
ケーキのたべたはははははは  
思っていたよりも楽しくてよ  
かったです。



牛乳パックの型と音紙を使い、パンを作ります

**子どもコメント**  
楽しくてきれいな川を遊んだ。感  
心なことが多かった。おもしろ  
かったです。おもしろいことを  
して楽しんできました。



妙高活動の思い出を振り返ります



**4月**  
学びのひろば  
ガイダンス

教育委員会や近隣の小学校に挨拶に行くなど、主に対外的な活動を担当しました。活動当日は、朝から子どもが帰るまで保護者の方と一緒に、活動を見守りました。その時のご指摘から気づかされたことがたくさんあり、次の活動につなげるよう配慮しました。それに私たちが応援してくださる方もたくさんいてくれて、大変心強く思いました。朝不安そうにやっていた子どもたちも、保護者が迎えに来た時に「今日とっても楽しかったよ」と話す姿が見られた時は本当にうれしかったです。



はげまいて



## 都道府県教育委員会と上越教育大学との情報交換会における 大学院カリキュラムについての意見聴取結果の分析

担当 廣瀬 裕一

### 1. 調査方法

「平成24年度 都道府県教育委員会と上越教育大学との情報交換会」(平成24年12月2日(日)13:00～15:00、上越教育大学大会議室にて開催)において、派遣等現職教員の研修成果や修了生の動向を踏まえた本学大学院カリキュラムへの意見等を聴取した。なお、教育委員会からの参加者には、事前に意見聴取する旨を文書で伝えておいた。

### 2. 聴取意見等の概要

カリキュラムについては、工夫して取り組まれている(福島県)などと評価する意見が多く、CST(コア・サイエンス・ティーチャー)養成プログラムについては、特別支援教育の部門と並んでとくに助かっている(新潟県義務教育課)、プログラム内容が充実しており、是非とも継続してほしい(新潟市)などと高く評価された。

教職大学院の学校支援プロジェクトについては、「理論と実践の往還」をしっかりと実行している(東京都)、高校教員にとって中学校での実習が非常に参考になっている(新潟県高校教育課)、実践的な学びができる(新潟市)、非常にありがたく現場を通した学びの場を継続してほしい(長野県)などと高く評価された。

なお、学校支援プロジェクトに関しては、新潟県義務教育課から、上越・妙高・糸魚川以外の市町村にも協力校を設けてもらえるのは大変ありがたいという発言があったが、中越・下越地区や県外の連携協力校の数は地理的条件などから必ずしも増えていないのが実情であり、平成25年度においても連携希望書が提出されていた新潟市の小学校が最終的に連携協力校になれなかった例がある。調整の在り方を含めて、今後の課題である。

#### [参考資料]

別紙1 平成24年度 都道府県教育委員会と上越教育大学との情報交換会の主なテーマについて(依頼)

別紙2 平成24年度 都道府県教育委員会と上越教育大学との情報交換会議事要旨

○上越教育大学成績評価に対する異議申立てに関する取扱細則

(平成28年3月21日細則第7号)

(趣旨)

**第1条** この細則は、シラバスに明示された授業の到達目標と成績評価の方法に基づき、厳格で客観的・公正な成績評価を行うことにより、学校教育学部及び大学院学校教育研究科における教育の質を担保するとともに、社会からの信頼性を確保するため、学生が、成績評価に対する異議申立てをしようとする場合の手続き及び申立ての取扱い等について必要な事項を定める。

(成績評価方法の明示等)

**第2条** 授業科目担当教員(複数教員で担当する場合は、その代表者とする。以下同じ。)は、授業の到達目標と成績評価の方法について、シラバスに明示しなければならない。

(成績評価結果の説明)

**第3条** 授業科目担当教員は、学生に対して成績評価結果の基となる試験結果の講評や模範答案(優秀答案を含む。)の提示に努めるものとする。

2 履修登録をしていない学生の成績は、原則として成績評価の対象外とする。

(成績評価に関する質問・疑問の受付)

**第4条** 授業科目担当教員は、成績発表後、一定期間を設けて学生からの成績評価に関する質問・疑問等を受け付けるとともに、これに真摯に対応するものとする。

(成績評価の異議申立て)

**第5条** 学生は、前条の質問・疑問等が次の各号に掲げる事項に該当する場合で、授業科目担当教員の説明では解決が得られなかったときは、教務委員会に対し成績評価に関する異議申立てをすることができる。

(1) 成績の誤記入等、明らかに授業科目担当教員の誤りであると思われるもの

(2) シラバス等により学生に周知している学習到達目標及び成績評価の基準・方法から、明らかに成績評価について疑義があると思われるもの

2 学生は、異議申立てを行う場合は、所定の期日までに別記第1号様式の成績評価に関する異議申立書を教育支援課へ提出するものとする。

3 意義申立て制度は、成績の不足に対する救済制度ではないため、教務委員会は、次の各号に掲げる全ての要件を満たした場合のみ異議申立てを受理するものとする。

(1) 履修登録をした授業科目であること。

(2) 授業において課せられたレポート等を全て提出していること。

(3) 学部学生にあつては、上越教育大学学校教育学部履修規程(平成16年規程第70号)第11条第1項及び第2項に規定する試験又は第12条に規定する追試験を受験していること。

(4) 大学院学生にあつては、上越教育大学大学院学校教育研究科履修規程(平成16年規程第72号)第13条第1項及び第2項に規定する試験又は第14条に規定する追試験を受験していること。

(異議申立ての調査・検討)

**第6条** 教務委員会は、異議申立てを受理した場合は、委員長、当該コース等から選出さ

れた委員（同委員が異議申立ての対象となる授業科目の担当教員であるときは、委員長が別に指名する教員）及び当該コース等以外から選出された委員の計3人により構成される調査委員会を設置する。

2 調査委員会は、授業科目担当教員に成績判定に用いた資料の提出を求め、成績評価の異議申立書に基づき当該学生と授業科目担当教員に対して調査を実施する。

3 調査委員会は、調査の実施に際し、必要に応じて、授業科目担当教員の所属するコース等の意見を聴取することができる。

（異議申立ての審議・回答）

**第7条** 教務委員会は、調査委員会の調査結果に基づき対応を審議する。

2 教務委員会は、審議に際し、必要に応じて授業科目担当教員の所属するコース等の意見を聴取することができる。

3 教務委員会は、別記第2号様式の成績評価に対する異議申立てに関する回答書（以下「回答書」という。）を作成する。

4 教務委員会委員長は、学生の所属するコース等の長及び授業科目担当教員に回答書の内容を伝えるとともに、回答書をもって学生に回答する。

（成績評価の訂正等）

**第8条** 前条第4項の回答により成績評価の訂正等が生じた場合には、授業科目担当教員は、別記第3号様式の成績訂正願を教務委員会へ提出するものとする。

（その他）

**第9条** この細則に定めるもののほか、この細則の実施に関し必要な事項は、学長が別に定める。

#### 附 則

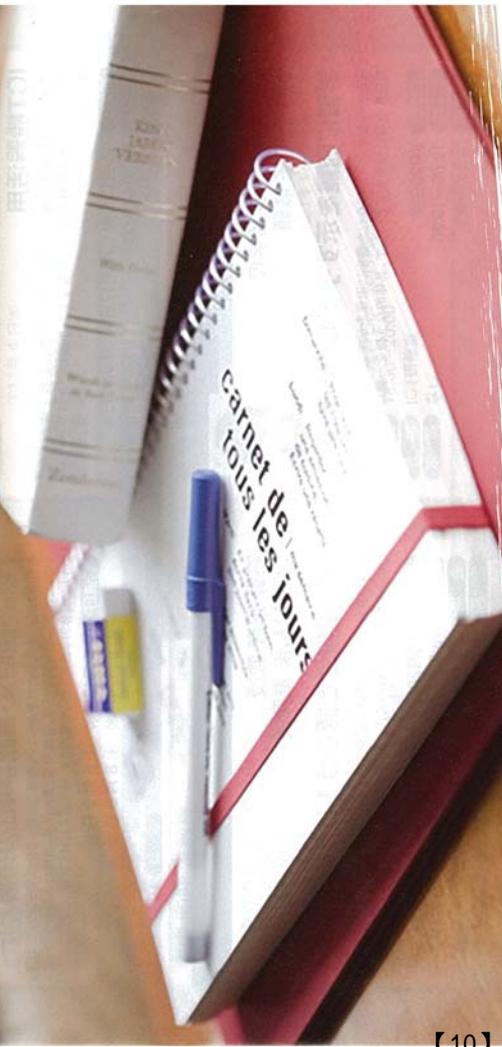
この細則は、平成28年4月1日から施行する。

（以下省略）

平成27年度

# 教職員のための自主セミナー

あなたが学ぶ場、あなたが語る場、あなたが教える場、  
あなたが塾生、あなたが講師！



# 未来をつくるのは 教育の力だ。

学校教職員や教員を目指す人のための  
自主参加型セミナーです。  
皆様の参加をお待ちしております！

**参加費無料**



上越教育大学学校教育実践研究センター

## 教職員のための自主セミナーのご案内

### 水曜セミナー

上越市立南本町小学校  
山崎 彰 教諭

#### 特別支援学級や通常学級でのICT機器活用

「手軽にICT機器を活用してみよう！」「実物投影機を使ってみよう！」「デジタル教材を使ってみよう！」と題して3回シリーズを行います。

開催日 ①5月13日㈪ ②6月17日㈪ ③9月9日㈪  
時間 18:30～20:00  
会場 ICT研修室 定員 10人

### 水曜セミナー

上越市立末広小学校  
中野 英康 校長

#### 国語の学力を高める「物語・説明文・言語事項」の指導方法

教科書教材の研究が分らない指導者に頼らない指導をしたいが自信がない、時間もない、漢字指導、文章指導、要約指導、読解指導が知りたいという方に具体的な教材を使って進めます。持ち込み教材も歓迎します。

開催日 ① 5月13日㈪ ② 6月3日㈪  
③ 6月24日㈪ ④ 8月5日㈪  
時間 18:30～20:00  
会場 セミナー室1ほか 定員 10人

### 水曜セミナー

県立上越特別支援学校  
堀井 利衛子 教頭

#### 学習に困難を示す子どもへの支援

昨年度のセミナーで紹介した数字に困難を示す児童の事例を中心に、発達検査等の結果をもとにして、具体的な支援を一緒に考えます。

開催日 5月20日㈪ 時間 18:00～19:30  
会場 セミナー室1 定員 なし

### 水曜セミナー

石野 正彦 教授  
辻野 けんま 准教授

#### 留学高校生と語ろう！

上越の高校に留学している高校生と、「それぞれの国の教育事情」や「留学生からみた上越の文化」を語り合います。

開催日 ①5月20日㈪ ②6月10日㈪  
時間 18:30～20:00  
会場 セミナー室2 定員 なし

### 水曜セミナー

#### 上越数学教育研究会 5会

上越地域の中小学校の数学や算数を担当している先生方、または数学・算数に興味のある方などなたでも参加可能です。参加申し込みは不要です。研修会場へお越しください。

開催日 ① 5月27日㈪ ② 6月24日㈪ ③ 7月29日㈪  
④ 8月26日㈪ ⑤ 9月16日㈪ ⑥ 11月25日㈪  
⑦ 1月27日㈪ ⑧ 2月24日㈪  
時間 18:30～20:00  
会場 セミナー室1ほか  
定員 なし

### 水曜セミナー

土田 了輔 教授

#### 体育授業お悩み解決?セミナー

日々の体育授業のお悩み、いろいろな持ち込んでください。みんなのアイデアを出し合い、一緒に考えてみましょう。

開催日 ① 5月27日㈪ ② 6月24日㈪ ③ 7月29日㈪  
④ 9月30日㈪ ⑤ 10月28日㈪ ⑥ 11月25日㈪  
⑦ 12月16日㈪ ⑧ 1月20日㈪ ⑨ 2月17日㈪  
時間 18:30～20:00  
会場 コラボ室1 定員 10人

### 水曜セミナー

玉村 恭 准教授

#### 伝統音楽に挑戦

#### ～能の表現を体感する～

なかなか触れる機会のない日本の伝統音楽、中学校教科書に記載されている「能」を取り上げ、実際に演奏してみてもその表現の特質を体感しましょう。

開催日 ①5月27日㈪ ②6月3日㈪  
時間 18:30～20:00  
会場 セミナー室1 定員 10人

### 水曜セミナー

元立憲女学園中等学校司書諭 本山 穂子

#### 子どもの本を楽しみ、子どもの本について考えるセミナー

子どもの時代は短いですが、この時代の読者は、大人の読者ととは意味、大切さを持つており、後々に影響が大きいのです。それ故、子どもとの出会いを大切にしたい。大人の責任はきかめてほしいのです。実際にすぐれた子どもの本を楽む(楽しむ)ことを通じて、子どもの成長を助ける本とはどんな本か一緒に考えてみましょう。参考書類は「わらべうた」「日本昔話百選」「おとぎ話」は「イブニング」の書庫に利用します。

開催日 ① 6月3日㈪ ② 6月17日㈪ ③ 7月15日㈪  
④ 7月22日㈪ ⑤ 8月5日㈪  
時間 18:30～20:00  
会場 コラボ室1 定員 10人

**水曜セミナー**  
**佐藤 人志 特任准教授**  
**国語の教科書には出ていない大切な指導内容**  
 国語の教科書には出ていない大切な指導内容の確認と具体的な指導場面を想定しながら、生きて働く国語の力について考えます。  
**開催日** ①6月10日 ②7月1日 ③7月15日  
 「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」  
**時間** 18:30～20:00  
**会場** セミナー室1  
**定員** 15人

**水曜セミナー**  
**上越市立城北中学校**  
**大崎 貢 教諭**  
**理科シミュレーション教材の可能性**  
 AR(拡張現実)技術を用いた教材(天体、光等)の発展について紹介いたします。実際にAR教材を体験してもらいながら、実世界と補助線等を引くことの可能性について相談しましょう。  
**開催日** 6月10日  
**時間** 18:30～20:00  
**会場** ICT研修室  
**定員** 15人

**水曜セミナー**  
**石野 正彦 教授**  
**情報メディアと生活習慣**  
 情報化社会の進展に伴い、情報メディアが急激に普及を遂げています。情報メディアが子ども達の学習や生活習慣に及ぼす影響と対策を考えます。  
**開催日** ①6月24日 ②7月1日 ③7月8日  
 ④6月24日 ⑤7月1日 ⑥7月8日  
 ⑦7月1日 ⑧7月8日  
 ⑨7月1日 ⑩7月8日  
**時間** 18:30～20:00  
**会場** セミナー室2ほか  
**定員** なし

**水曜セミナー**  
**長沼 智之 特任准教授**  
**生活科 小動物飼育のすすめ**  
 (モルモット・ウサギ)  
 モルモット・ウサギの飼育についての実践例、留意点、飼育師との連携の仕方、モルモットの抱き方・心算の聞き方の実習を行います。  
**開催日** 7月1日  
**時間** 18:30～20:00  
**会場** セミナー室1  
**定員** なし

**水曜セミナー**  
**野口 孝則 教授**  
**学校・家庭・地域ですめる食育**  
 児童・生徒の体と心の健康のために食育が推進されています。家庭や地域と連携した実践的な食育のすすめ方について、先進的な取り組み事例から学びたいと思います。  
**開催日** 前期/①6月10日 ②7月1日  
 後期/③10月14日 ④11月11日  
 ⑤11月15日  
 ※同様のセミナーを2回開催します。  
**時間** 18:30～20:00  
**会場** セミナー室1ほか  
**定員** なし

**自主セミナー**  
**菊地 雅樹 特任准教授**  
**吹奏楽指導の基礎・基本(実践編)**  
 ～コンクールに向けて何をどう指導するか?～  
 昨年度実施したセミナー「吹奏楽指導の基礎・基本①②」の実践編。今年度は中学校の吹奏楽部をモデルバンドとして、実際に音を出しながら指導を行います。コンクールへの指導こそ基礎・基本が大切。具体的に何をどのように指導するか学びたいと思います。  
**開催日** 6月28日  
**時間** 9:00～12:00  
**会場** 上越市立城西中学校音楽室  
**定員** なし

**水曜セミナー**  
**五百川 裕 教授**  
**夕暮れ、市街地の自然観察**  
 季節を変えて朝風小学校周辺と高田公園外周周辺を歩きながら自然観察を行い、野外でのICT活用も研修します。  
**開催日** ①6月24日 ②7月8日 ③9月22日  
**時間** 18:30～20:00  
**会場** ICT研修室ほか  
**定員** 20人  
 ※少雨決行します。雨具をご用意ください。

**水曜セミナー**  
**中野 博幸 准教授**  
**論文作成や授業評価、学校評価に生かすデータ分析**  
 度数の検定や、分散分析の理論と演習など、研究にも実践にも役立つデータ分析を学びます。  
**開催日** ①7月1日 ②7月8日 ③7月15日  
**時間** 18:30～20:00  
**会場** セミナー室2  
**定員** 40人

**水曜セミナー**  
**古閑 晶子 准教授**  
**教育実践研究論文のまとめ方・書き方**  
 なぜ教育実践研究論文にまとめらるのか、問うことから始めましょう。何をどう加え、どのようまとめるのかについて、論文の基本的な内容や構成、配達の仕方を明示しながらお話しします。  
**開催日** 7月8日  
**時間** 18:30～20:00  
**会場** セミナー室1  
**定員** なし

**水曜セミナー**  
**株式会社ジェーエミックス**  
**柳澤 啓希**  
**無料ツールで簡単アプリ作成**  
 今やアプリを作るのに必ずしもプログラミングや高価なソフトは必要ではありません。無料作成ツールの紹介と、授業にも役立つ具体的な使い方を紹介します。  
**開催日** ①8月5日 ②8月19日 ③9月16日  
**時間** 18:30～20:00  
**会場** ICT研修室  
**定員** 20人

**水曜セミナー**  
**菊地 雅樹 特任准教授**  
**学級担任のための合唱コンクール指導**  
 ワンポイントアドバイス～  
 体育祭も終り、いよいよ合唱コンクール。学級担任として感動ある合唱を制作したい。でも何をどうアドバイスすればいいのか、音楽的な指導、助言の仕方、発声や効果的な表現の作り方、学校での練習の進め方、指揮者へのアドバイスなどについて、その基本を学びましょう。  
**開催日** 9月9日  
**時間** 18:30～20:00  
**会場** セミナー室2  
**定員** なし

**水曜セミナー**  
**上越市立春日中学校**  
**柳澤 一輝 教諭**  
**授業のUD化とアクティブラーニングに向けた授業づくり**  
 授業のUD(ユニバーサルデザイン)化、学び合い、FT(フアシリテーション)など、様々な手法や学習形態を通して、アクティブラーニングに向けた授業づくりについて研修します。様々な手法を授業で使えるようになることを目的としています。  
**開催日** ①9月16日 ②10月7日 ③11月4日  
**時間** 18:30～20:00  
**会場** セミナー室2ほか  
**定員** なし

**水曜セミナー**  
**石野 正彦 教授**  
**語り継ぐ平和教育～名立機雷事件から学ぶ～**  
 1949年に発生した新潟県西頸城郡名立町の機雷爆発事件は、小中学生を含む68人の犠牲者を出しました。現存する事件当事者が高齢化する中、事件を後世に伝える取り組みをしている「名立・平和を語り継ぐ」実行委員会の高橋会長をお招きし、講演していただきます。  
**開催日** 7月15日  
**時間** 18:30～20:00  
**会場** セミナー室1  
**定員** なし

**水曜セミナー**  
**附属中学校**  
**小池 克行 教諭**  
**授業におけるICT活用**  
 (附属中フューチャースクール)  
 フューチャースクールの実践から見えてきた、授業におけるICT活用のポイントや、様々な実践事例を紹介いたします。今までICTを授業で利用したことがない方も大歓迎です。  
**開催日** 7月15日  
**時間** 18:30～20:00  
**会場** ICT研修室  
**定員** 20人

**水曜セミナー**  
**上越教育事務所**  
**重野 準司 指導主事**  
**児童と一緒に楽しむ**  
**小学校外国語活動(ソロの授業で)**  
 児童が慣れず英語を口にすると、あるいは口にしたくなる外国語活動を、A.L.Tに頼らない学級担任のソロの授業でどう具現するか、そのアイデアを紹介します。  
**開催日** 9月16日  
**時間** 18:30～20:00  
**会場** ライブラリー室  
**定員** なし

**自主セミナー**  
**辻野 けんま 准教授**  
**チャールズ・ストラットン(NPO法人国際リーダーズ・スクール(CAN)専任理事)**  
**カルロス・フバル(砂防事務所教育委員会専任講師)**  
**原口 央 (新潟県高等学校教諭)**  
**日本の教育の不思議? Mysteries of Japanese Education?**  
 私たちが慣れ親しんでいる学校の教育を視点を変えて不思議なことが少なくありません。素朴な疑問を意見交流(英語でOK!)しましょう。  
**開催日** ①9月26日 ②10月24日 ③11月19日  
 ④12月19日  
**時間** 10:00～12:00 (③のみ 17:00～19:00)  
**会場** セミナー室1  
**定員** なし

## 水曜セミナー

上越教育大学被災地ボランティア組織～ABJ～  
大島 みちる

ABJ活動報告  
「被災地の現状といま求められていること  
～防災教育の重要性～」

ABJが行って来た被災地へのボランティアの活動報告をします。被災地の現状を伝えるとともに、防災教育についてみんなで考えます。

開催日 10月7日  
時間 18:30～20:00  
会場 セミナー室1  
定員 なし

## 水曜セミナー

株式会社ジェエミックス  
齋藤 綾花・吉原 涼子  
初心者向けiPadセミナー

これからiPadを使ってみたいという方や、どうやって使うとよりよいのかを知りたいという方のためのiPadの初心者向けセミナーです。

開催日 ①10月7日 ②10月14日  
③11月4日  
時間 18:30～20:00  
会場 ICT研修室  
定員 20人

## 水曜セミナー

周東 和好 准教授  
コツのつかみ方・伝え方

体育授業では個人の動きの感覚に根拠した動きのコツをつかむための指導が不可欠です。学習者の内側で生じている動きの感覚は目を向け、その理解の仕方と指導方法に関する最新の知見について軽運動とともに理解しやすく解説します。受講者の方々の疑問に即応するよう対話しつつ展開していきます。幼虫から高校生までの指導まで視野に入れています。

開催日 ①10月14日 ②10月21日  
時間 18:30～20:00  
会場 セミナー室1  
定員 なし  
※必ず6日前までにお申し込みください。  
軽く動きまわるので、軽装でおいでください。

## 水曜セミナー

玉村 恭 准教授  
和楽器入門  
～箏を鳴らしてみよう～

日本の伝統音楽、やってみなければどこから手を付けていいかわからない、学校に楽器があるのだが、使い方がわからない、そんな方も多いと思います。まずは一般、実際に楽器に触れ、響きを体感してみよう。

開催日 ①11月18日 ②11月25日  
時間 18:30～20:00  
会場 セミナー室1  
定員 10人

## 図書の出貸をしています。

学校教育実践研究センターでは「特別支援教育関係図書」と「人権教育・同和教育関係図書」の出貸を行っています。簡単な手続きで貸出できますので、当センターへお越しの際にぜひご利用ください。  
また、当センターで収集された教育文化資料についても、ホームページで公開されているものも含め閲覧が可能です。ご不明な点はお問い合わせください。



## 上越地区同和教育研究協議会

### 人権教育・同和教育セミナー



上越地域で同和教育の実践と研究を深めてこられた方々を講師にお招きして開催します。  
現在日程等調整中ですので、10月下旬～11月)詳細が決定的次第お知らせいたします。

開催日 ①11月11日 ②11月25日  
時間 18:30～20:00  
会場 ICT研修室  
定員 なし

## 水曜セミナー

倉澤 秀典 特任准教授  
子どものやる気を引き出す  
社会科授業

小中学校の社会科授業で、子どものやる気を引き出す授業づくりを、教材開発、学習課題づくり、学習形態、ICTをキーワードにして、実践例を交えて考えていきます。

開催日 ①11月11日 ②11月25日  
時間 18:30～20:00  
会場 ICT研修室  
定員 なし

教職員のための自主セミナーは学校教職員や教員を目指す人のための自主参加型セミナーです。参加ご希望の方はセンターホームページからお申し込みください。参加費は無料です。

また、セミナーの詳細やご案内は毎月発行の「センターだより」でお伝えします。合わせてご覧ください。たくさんの方々のご参加をお待ちしております。

## 「教職員のための自主セミナー」申し込み方法

まずは、

学校教育実践研究センターのホームページへアクセス

<http://www.educ.juen.ac.jp/>



はじめてセミナーを申し込まれる方は、登録手続きをしてください!

・ホーム右上の **登録はこちら** から **をクリック**

・指示に従って必要事項を入力すれば登録完了です。

・セミナーお申込み、メルマガ受信等のサービスを受けることができます。



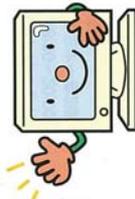
セミナーを申し込むときは、

・ホーム右側の **セミナースケジュール** でご希望のセミナーをクリック

・ **セミナー申し込み** ボタンをクリックしてユーザー名・パスワードを入力してログイン

・ **希望開催日** をチェックし必要事項を入力の上 **確認する** をクリックすれば申し込み完了です。

・ **カレンダー** から申し込みできます。



## 上越教育大学 学校教育実践研究センター

〒943-0834 新潟県上越市西城町1-7-2

E-mail: infoeduc@juen.ac.jp

TEL:025-525-9147 FAX:025-525-9860



### お知らせ

- 4月1日  
Webページを更新しました。
- 4月15日  
平成28年度CST所属ならびにCST配置一覧をアップしました。

### コンテンツ

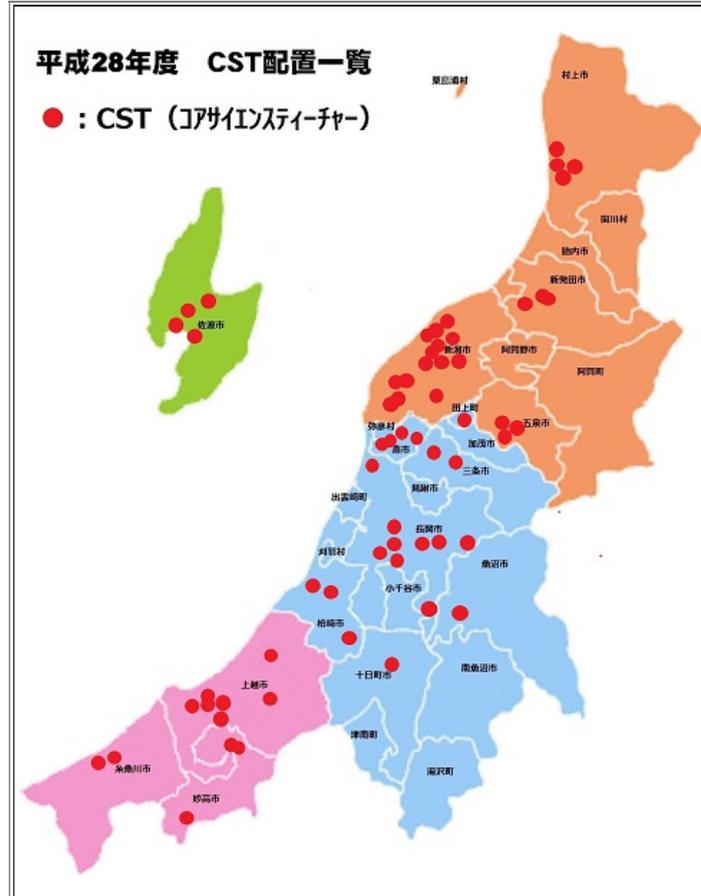
- いきいきわくわく科学賞
- 科学の甲子園ジュニア
- 青少年のための科学の祭典
- 科学の甲子園
- サイエンスカフェ
- 科学技術振興機構CSTサイト
- 上越教育大学CST養成拠点構築事業
- 新潟大学CST養成拠点構築事業

### スタッフ

- 信江 弘一  
(小・中学校理科)  
TEL 025-263-9028
- 合志 恭  
(高等学校理科)  
TEL 025-263-9018
- 田邊 康彦  
(高等学校理科)  
TEL 025-263-9018
- 帆苺 信  
(高等学校理科)  
TEL 025-263-9020

## 新潟県内のCST(コアサイエンスティーチャー)と地区理科教育センターについて

### 平成28年度新潟県内CST(コアサイエンスティーチャー)一覧



CST(コアサイエンスティーチャー)は、理科指導力が優れた小・中学校教員として、自ら教育実践を行うとともに、研修会や教材開発で中心的な役割を果たし、地域の理科教育の質を向上させ理科教育振興を図る教員です。

CST(コアサイエンスティーチャー)として認定され新潟県で活躍している教員は、平成27年度末で61人になりました。上越教育大学認定53人、新潟大学認定7人、信州大学認定1人です。CSTは、新潟県内各地の小・中学校に在籍し、校内や地域の理科教育研修等で活躍しています。



(県立教育センターの理科研修で講師として)

CST(コアサイエンスティーチャー)は、独立行政法人科学技術振興機構の「理数系教員(コアサイエンス・ティーチャー)養成拠点構築事業」において、都府県の教育委員会と大学が養成プログラムを開設し、認定を行っているものです。

新潟県では、平成22年度から上越教育大学で、大学と新潟県及び市の教育委員会等が共同でCST養成事業を実施し、CST養成プログラムを開講しています。新潟県立教育センターや地区理科教育センター等と連携しCSTの養成に取り組んでいます。

また、新潟大学では、平成21年度～23年度に、新潟市教育委員会、新潟市立総合教育センター、県立自然科学館と連携してCST養成事業を実施しました。

※CSTの皆さんが大学院派遣や理科定期派遣研修の際に執筆した論文のうち、県立教育センターWebページで公開している研究論文を読むことができます。論文マークがあるCST氏名をクリックしてください。

CST認定年度	CST氏名	平成28年度所属
H22	水澤 勝宏	国立妙高青少年自然の家
H22	永井 哲	上越市立吉川中学校
H22	酒井 智子	長岡市立西中学校
H22	村山 貴芳	長岡市立関原中学校
H22	三津輪 宏之	長岡市立越路中学校
H22	多々良 儀仁	田上町立田上中学校
H22	土田 宗明	長岡市立寺泊中学校
H22	乙川 尚史	燕市立吉田中学校
H22	齋藤 大祐	五泉市立愛宕小学校
H22	阿部 英幸	佐渡市立金井小学校
H22	鈴木 淳	村上市立上海府小学校
H22	遠藤 満久	佐渡市教育委員会
H23	山際 貢 論文	長岡市立川口中学校
H23	森田 雅弘 論文	上越市立浦川原中学校
H23	森田 健一 論文	燕市立燕南小学校
H23	星野 勝紀 論文	新発田市立本丸中学校
H23	平山 裕也	村上市立村上小学校
H23	大蔵 武彦 論文	佐渡市立八幡小学校
H23	山田 淳	新潟市立巻北小学校
H24	市川 哲 論文	上越市立春日小学校
H24	内藤 寿一 論文	糸魚川市立糸魚川東小学校

CST認定年度	CST氏名	平成28年度所属
H24	鹿島 真由美 論文	妙高市立新井中央小学校
H24	澤栗 賢一 論文	新潟市立女池小学校
H24	関根 幸子 論文	長岡市教育委員会
H24	野上 貴浩 論文	佐渡市立佐和田中学校
H24	長谷川 直紀 論文	新発田市立本丸中学校
H24	吉田 裕 論文	新潟大学教育学部附属長岡小学校
H25	瀧美 猛 論文	柏崎市立柏崎小学校
H25	加藤 聡 論文	燕市立吉田小学校
H25	金子 信子	新潟市立桃山小学校
H25	小宮山 文子	魚沼市教育委員会
H25	山口 真人 論文	糸魚川市立田沢小学校
H25	小松 祐貴 論文	上越市立春日中学校
H25	中村 直貴 論文	新潟市立白根小学校
H25	山上 純 論文	新潟市立浜浦小学校
H25	荻野 伸也 論文	五泉市立山王中学校
H26	阿部 光宏	長岡市立江陽中学校
H26	加藤 和宏	上越市立福田小学校
H26	鈴木 禎弘	三条市立第二中学校
H26	八木 純	上越市立春日中学校
H26	涌井 学	妙高市立新井中央小学校
H26	高橋 一哉	村上市立村上第一中学校

H24	近藤 亜矢子 論文	柏崎市立比角小学校		H27	浅倉 健輔	燕市立吉田小学校
H24	今井 奈奈 論文	三条市立大崎中学校		H27	平野 雄介	十日町市立十日町中学校
H24	菊池 直和 論文	五泉市立村松小学校				
H24	武藤 重之 論文	村上市立村上東中学校				
H24	小田 一朗	新潟市立宮浦中学校				
H24	桑原 通泰	新潟市立鳥屋野中学校				
H24	酒井 悟	新潟市立女池小学校				
H24	眞田 和徳	新潟市総合教育センター				
H24	八百板 恵理子	新潟市総合教育センター				
H22	中村 友則	上越市立城東中学校		平成28年3月 新たに2人の方がCST養成プログラムを修了され、CSTに認定されました。今後は新たな赴任先で理科教育の充実に向け、それぞれの立場で活躍されることになります。		
H22	江端 卓 論文	新潟市立巻北小学校				
H22	内田 隆志	新潟市立山湯中学校				
H23	平田 裕之	新潟市立猿橋中学校				
H23	峯岸 良光	柏崎市立高柳中学校				
H23	吉野 修平	長岡市立太田中学校				
H23	片桐 敏起	新潟市立柳都中学校				
H25	遠藤 美有	新潟市立上山中学校				

新潟県地区理科教育センター（各地区理科教育センターのWebページへリンクしています。）

新潟県内には、14の地区理科教育センターがあり、地域のニーズに応じて、幅広い事業を展開しています。主な事業として、理科教育研修、地域教材の開発・提供、理科・生活科・総合的な学習の時間等の学習指導支援等の教員対象の事業や、夏休み作品展・科学研究発表会運営や科学体験活動、自然観察会等、児童・生徒・市民対象の事業を行っています。

No.	地区理科教育センター	電話	Fax
1	<a href="#">糸魚川市理科教育センター</a>	025(552)2241	025(552)2241
2	<a href="#">上越理科教育センター</a>	025(545)9248	025(545)9274
3	<a href="#">柏崎刈羽地区科学技術教育センター</a>	0257(20)0212	0257(23)4610
4	<a href="#">十日町市立理科教育センター</a>	025(752)4632	025(752)4632
5	<a href="#">魚沼・小千谷地域理科教育センター</a>	025(792)3143	025(793)7115
6	<a href="#">長岡地域理科教育センター</a>	0258(32)3792	0258(32)3719
7	<a href="#">見附市教育センター科学教育部</a>	0258(62)2343	0258(62)2343
8	<a href="#">三条市立理科教育センター</a>	0256(33)2171	0256(33)2171
9	<a href="#">加茂地区理科教育センター</a>	0256(52)9923	0256(52)9923
10	<a href="#">燕・弥彦科学教育センター</a>	0256(63)4590	0256(63)4590
11	<a href="#">五泉市理科教育センター</a>	0250(25)7734	0250(25)7762
12	<a href="#">三市北蒲原郡地区理科教育センター</a>	0254(22)2139	0254(22)2139
13	<a href="#">村上市理科教育センター</a> (同センターのブログ)	0254(75)5432	0254(53)6307
14	<a href="#">佐渡市立理科教育センター</a>	0259(51)4649	0259(51)4650



理科教育に関する情報について（県立教育センターWebサイト内のリンクです。）

- ・新潟県地区理科教育センター指導資料集
- ・理科に関する情報提供

ダウンロード

- ・ダウンロードするときは、リンクを右クリックして「対象をファイルに保存」を選択します。
- ・PDFファイルの閲覧には、AdobeReaderのインストールが必要です。

新潟県立教育センター

Copyright (C) Niigata Prefectural Education Center. All rights reserved.